【 From Kobe　2022 年賀】 2022 年　歳の初めに　　from Kobe　Mutsu Nakanishi

fkobeR04
nenga.pdf

和鉄の故郷　古代 山陰道日本海と倭を結ぶ和鉄の道　但馬和田山

天空に聳える城は「虎臥城」の名をもつ竹田城

参考 和鉄の道・https://www.infokkkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0209asagotakeda00.htm

高齢化が進む中で迎える「ポストコロナ・低炭素社会構築」
大変革の新時代 幕開け
みんながみんな穏やかな暮らしが実現できるよう
スクラム組んで 新しい時代へ 第一歩 前向いて

ポストコロナで迎える新時代　激変過酷な厳しい時代だと皆が言う。
「コロナ対策と経済・雇用の回復への暮らし・雇用・経済の復興」に並行して
もう待ったなし「人類の危機地球温暖化の歯止め止め　低炭素社会への大転換」
誰もが避けられぬ経験したことのない
　「令和の産業革命　社会・経済の激烈な再編の時代」へのターニングポイントに
高齢者には足がすくむ新時代
もう　自分の時代でないと知りつつも、でも立ち止まっては居られない
知力・体力は衰えたとはいえ、足も動くし、まだまだ好奇心もあり。
70 有余年の「気力 – 毎日毎日の思い –」が生きる力
思いは誰も同じ　　時とには世話にもなりながら、スクラム組んで頑張りましょう。.
God be with You!!　仲間の元気はみんなの応援歌

この新しい時代を笑顔で暮らせるように

皆様のご健康とご多幸を お祈り致します
本年もよろしくお願いします
令和４年　元旦
　　Mutsu Nakanishi From Kobe

我が身に降りかかる過酷な産業・経済・社会の大変革時代の幕開け　令和の産業革命の新時代
「どうすればよいのか?
人任せではどうにもならぬ厳しい新時代　立ち位置をしっかりと」との思いも新た

◎ 世界がこぞって舵を切る　カーボン　ニュートラル 50　実現は切実な願い
地球暴走の歯止め　CO2 増加をみんなの力で止めよう
掛け声は心地よいが、我が身に降りかかる産業・経済・社会の大変革
今 CO2 増加を食い止めねば地球は暴走　人類破滅の危機　生きとし生けるものみんなに

もう後戻りできぬターニングポイントに直面している今
「持続可能な開発目標（SDGs・「カーボン イーブン 50」の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に　歯止めをかけて　持続可能な低炭素社会の実現へ
また　CO2 排出量の多い大型高炉操業を続けてきた日本の鉄鋼業は生き残れるだろうか?

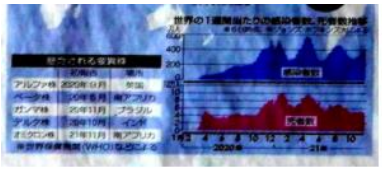
◎ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用　経済の再建
みんながみんな　命の危機に直面したコロナ禍 やっとみんなの自己行動節制・ワクチン接種等々で
コロナ収束へと、ほっとしたのも束の間　世界はイプシロン変異株が猛威を振るう第６波が大流行
検疫強化で遅延されてきた日本も　ついに今　市中感染が見つかり、流行化の危機
いまでのコロナより、感染力は数倍の感染力のイプシロン変異株　高齢者には厳しい。
でも　コロナ禍２年を乗り越えた経験・医療従事者の懸命なネットワークや　ワクチン投与もある
みんなの力で第６波を食い止め、取り戻そう　穏やかな日常を
今年一年　いろんな思いが駆け巡る令和４年の始まりです。

高齢化が進む中で迎える「ポストコロナ・低炭素社会構築」　大変革の新時代 幕開け
みんながみんな穏やかな暮らしが実現できるよう
スクラム組んで 新しい時代へ　第一歩

まだまだ　好奇心もある。　お互い　気力をふりしぼって、
この厳しいポストコロナの時代を前向いて。
よろしくおねがいします。
いつも勝手な神戸からの便り
お許しください。

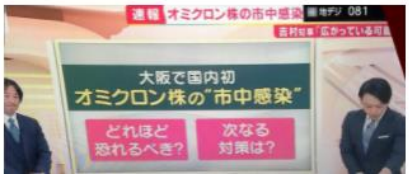
God be with You!!
元気に出会える日を楽しみにしています。
From Kobe
Mutsu　Nakanishi

2021 年総括　コロナ禍の中で　home page 和鉄の道・Iron Road を振り返って



検疫で稼いだ時間、問われる第6波
オミクロン株市中感染

22日、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の市中感染が国内で初めて確認された。従来のデルタ株などと比べ、感染力が強いとみられるオミクロン株。今後、欧米のように拡大し、感染「第6波」の到来も懸念される。その日に備え、保健所や病院は状況を注視している。　◇在宅医療強化の必要性指摘



厳しい寒さの中で迎えた令和４年　　神戸では例年風物詩ともなった光のルミナリエが今年も中止されましたが、やっと新型コロナも収束の落ち着いた動きに。コロナ変異株「オミクロン」の流行の兆しが進んでホット一息。街もやっと明るさが戻りつつあります。　油断大敵　マスクと行動の自己規制はかかせませんが・・・・

本年も勝手な風来坊「和鉄の道・Iron Road」にお付き合いいただきありがとうございました。
また一年相変わらずですが、コロナ禍の中　″God be with You!!″ の言葉とともにあっという間に１年が過ぎてゆく。つくづく日が経つのが早く感じる歳になりました。
新型コロナ収束に向かいホッとしていましたが、新たな変異株（オミクロン株）流行の兆し。
　まだまだ気を緩めることなく頑張らねばと。
本当に我が身命の危険を身近に感じた一年でした。早く穏やかな暮らしが取り戻せるようにと願っています。
振り返ってみれば本当に色々あった一年、
home Page の中味も神戸籠もりの中で、厳しいコロナ禍の中でなんとか明るく前向いてと。
世は情報があふれるデジタル時代　電話も会合もネットでも見られる情報社会。
でも　はっと気が付く景色はみんな仮想現実・非日常。
みんな今までと変わらぬというのですが、自分ひとりが取り残されているとの不安感。
今ほど顔を突き合わせ、お互い生の会話のできるありがたさを感じたことはなし。
仲間に出会いたいなぁと。
そんな中、温暖化による地球環境の激変化が切実・我が身に降りかかるようになって、待ったなし。
避けることの出来ない脱炭素社会構築へ全世界が舵を切る。
ポストコロナと脱炭素の時代　激変する時代に不安一杯。
みんながみんな穏やかな暮らしを取り戻せるのか・・自分はどうなるのか・・・
今一番　日本が取組遅れの厳しい現実に直面してると見える。
姿を見せぬ本当の現実がコロナ禍の中で　垣間見え隠れしはじめ、思いもかけず我が身にも降りかかる。

突破口を見いだせぬ日本に苛立ちを感じる様子がホームページ掲載の文面の随所にもありありと。
自分では何も出来ないと感じながら、後ろから今を考える年代になったとつくづく感じてきた一年でもありました。

神戸新聞　2021年12月19日朝刊　コラム「正平調」より「ナンバーワン」が泣いている

正平調

「ジャパン・アズ・ナンバーワン」という本が出版されたのは、1970年代の終わりである。日本はなぜ高度経済成長を遂げられたか、学ぶべきものは何か、米国の学者が書いた◆刺激されてか、日本研究が海外で盛んになった。こぞって探ったのは「ナンバーワン」の秘密だ。その様子を見て、ジャーナリスト田原総一朗さんは思ったそうだ。日本研究に足を踏み入れると、例外なく行きつくものが一つある。それは官僚、官僚機構◆田原さんも霞が関への取材を重ねて本にした。「ジャパンー」と同じころだ。こんな話が著書にある。政治が安定しなくても国は大丈夫と財界人が言った。なぜなら「官僚と企業がしっかりしているから」と◆それほど信頼された官僚の仕事にほころびが目立つ。建設業界にまつわる統計に不正があった。それも8年間。3年前には毎月勤労統計で不正が発覚した。国家の体力を測る統計がこんな体たらくとは、情けない◆中国が経済力をつけたころ、国内総生産（GDP）値が水増しされていないかという疑惑があった。現に中国政府が地方の統計に水増しや誇張があったと認めたとき、ほらね、と冷笑するような気配を感じた◆もう、他国をあれこれ言えない。「ナンバーワン」が、泣いている。　2021・12・19

毎朝見ている神戸新聞のトップ紙面コラム「正平調」にも上記一年の締めくくりとして、
日本の状況につい手厳しい言葉が綴られていました。
まもなく　1.17.　阪神・淡路大震災記念日がやってくる。　あのルミナリエの灯がついた時を忘れない。
希望と期待をもって　頑張らねば・・・。

「持続可能な開発目標（SDGs・「カーボン イーブン50」の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に歯止めをかけて　持続可能な低炭素社会の実現へ
最近は産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表化が相次いでいる

参考　和鉄の道　2月　政府が策定した「2050年カーボンニュートラル　政府脱炭素社会を目指す14重点項目策定」

否応なしにさらされる激変の時代の幕開けに思いも新た。
自分の時代でないとの思いはありますが、しっかりとこの時代を前向いて。
コロナ禍と同じ。誰しも避けることのできない大変革の時代　令和の産業革命といわれる大変革
もし　この低炭素社会実現に失敗すれば、歯止めの利かぬ地球暴走へまっしぐら。いわば地球人／生きとし生きるすべてに激変環境の猛威が多いかかることに。
生活・社会・経済そしてわが身にもフルかかる大変革　人任せにできぬ所以。　身震いする思いの入り口に。

◎「鉄の惑星　地球」　人類の歴史の中で　難局に出会うたびに新たなイノベーションを巻き起こし、
新しい展開を切り開いてきた鉄。その鉄がこの厳しい時にもまた、力を発揮するだ　ろう。
長く取り組んできた「鉄の起源・歴史」を昨春まとめることが出来た「たたらの源流　鉄の起源 ＆ ユーラシア大陸東遷の道」（愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ　聴講記録集成聴講記録）にもそんな事象がいくつも記されている。

HP 開設以来 20 年を経過した年末には「私の和鉄の道・Iron Road」を整理して眺め直す事もできました。
これからどんな姿になって、鉄がこの難局を切り開いてくれるのか　楽しみな和鉄の道。

ポストコロナ　脱差炭素社会がどんな姿で登場するのか　明日の時代の平和で穏やかな暮らしに期待して。
本当にエポックメーキングな一年　和鉄の道・Iron Road 2021 でした。

参考 参考2 ．【動画】先行する欧州の
化石燃料を使わぬ鉄鋼生産　インターネットBloomberg　home page より
SSAB スウェーデンスティール（株）ほか鉄鋼三社の共同プロジェクト

地球46億年　「鉄」が幾多の困難を切り開き、今の時代へと続いている。
鉄の惑星地球の上で　幾多の生物とともに生命をつないできた我々
必ずや「鉄」が窮地を乗り越える道を示してくれるだろうと。
「鉄鋼は剛柔にして、時に応じて態を変える。先人の知恵に学べ」
「歴史・時代の流れをみよ」と教えられました。
鉄の黒光りとまばゆい輝き　「鉄の肌光と閃光」
炒鋼の美しい輝きにも魅せられ、俺たちも頑張ろうと

私がなにを思ってきたか　それがいまの私をつくっている
あなたがなにを考えてきたか　それがいまのあなたそのもの
世界はみんなのこころで決まる　世界はみんなのこころで変わる
谷川俊太郎　「こころの色」より

私がなにを思ってきたか　それがいまの私をつくっている
あなたがなにを考えてきたか　それがいまのあなたそのもの
世界はみんなのこころで決まる　世界はみんなのこころで変わる
谷川俊太郎　「こころの色」より

大量の CO_2 ガスを放出する高炉操業が主の日本の鉄鋼業
高度成長期を支えた鉄鋼業も業態大転換の厳しい対応の中　なにか忘れ去られようとしている。
でも　鉄鋼のから　鉄鋼もがんばれ!!　とエールを送る

◎　鉄のない縄文の世界にも惹かれ、ずっとHP への掲載取組をしてきた「日本の縄文」。
心優しき縄文人たちが約 1 万年の長きにわ たる永続社会をつくってきた日本の縄文
コロナ禍の中で、長年の夢がかなって、ユネスコ世界文化遺産に登録されたのも嬉しい
ニュースでした。

◎　CO2 排出ストップの厳しい操業形態移行を迫られる鉄鋼。
過酷化する地球環境に歯止めをかけるには待ったなし。
CO2 排出量の多い大型高炉操業依存度の高い日本の鉄鋼業は脱炭素社会構築の中で今一番厳しい立場に置かれている。退場を願うと言う人達も数多く、長く鉄鋼の中で育ててもらった私にとって、一番気になっているが、今　数々の新しい高炉操業変革に取組んでいる。それがこれから目に見えてくるだろう。
必ずや日本の鉄鋼の歴史が新しい道を切り開いてくれると期待一杯。鉄鋼ガンバレ!!と。

◎　私ごとですか、６月末　足踵骨折で約 20 年ぶりに入院生活。
足を地面につけられぬ厳しい正つの苦しさや入院高齢者が多いリハビリ病院の現実も知り、
元気で健康でいるあがたさもつくづく。
入院・神戸籠りの中で、アルバム整理を兼ねた断舎離。今までの道を振り返る良い機会。
忘れかけていた数々の人たちや事柄との交流がありありと。
長くかかった整理ですが、自分の生き方を振り返りいい整理ができました。

◎　多くの知人や仲間にも助けてもらいながらも、孫たちも元気に成長。みんなに感謝です。
本当に早く出あいたいなぁとの思いも強いです。
気がかりは　多くの仲間・先輩・知人の訃報に接し、秋送りをしました。
もうそんな歳になったんやと今の健康に感謝しつつ、から元気の毎日。毎日前向いて元気にと
本当にありがとうございました。　　引き続き　本年もよろしくおねがいします。

本当にエポックメーキングな一年　和鉄の道・Iron Road 2021 でした。
２０２２年　高齢者にとっても本当に厳しい年になりそうですが、新しい時代の実現に希望を託し、
穏やかで　平和な都市となりますよう頑張りましょう。

2021年 和鉄の道 トピックス

コロナ禍　行動自己節制の神戸籠りの中で、たたら遺跡探訪-」として、約 20 年 home page に掲載してきた記事の読み返し・整理。　私蔵版 Review「私の和鉄の道・Iron Road　－ 日本の源流」をまとめました。

約２０年年次ブックには整理してきましたが、中身はばらばら・・・・。　何とか時代を通して眺める資料を作りたいと長年思ってきた一部です。

私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review1】
2000・2001日本の源流・たたらとの出会い

私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review2】
たたら探訪通史（たたらの歴史）

インターネット採録　11・12月
「低炭素カーボンイーブン50」取組

「和鉄の道・Iron Road　since 1999　－ 日本の源流・たたら遺跡探訪-」の home page を解説して約 20 年
その年ごとに「和鉄の道」・「風来坊」「四季折々・From Kobe」に合本整理してきましたが、ライフワークとしてきた「鉄の起源・和鉄の道」の歴史的な流れに沿ったレビューをまとめられていないことが気がかりでした。
昨年初めに、長年聴講参加させていただいた愛媛大学村上恭通先生たちの 10 数年に渡る「鉄の起源・鉄のユーラシア大陸東遷の道」探求プロジェクトの国際シンポ・成果報告会に毎年聴講参加させていただき、
「愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ聴講記録集成聴講記録　鉄の起源 ＆ ユーラシア大陸東遷の道」として昨年末にまとめることが出来ました。

コロナ禍の中で思い立って、古いアルバム等の断舎離を始めて、日本のたたら製鉄の資料の集成整理にも着手。
今回 私蔵版「私の和鉄の道・Iron Road　－ 日本の源流・たたら遺跡探訪-」として、home Page　和鉄の道レビューを作成できました。
かつてよく参考・引用転記させていただいた穴澤義功先生の「古代たたら遺跡の歴史」講演スライド集をインターネットでみつけ、主要資料として採録転記収録させていただきました。。
素人　誠に勝手な資料ですが、参考になればと。

また、11 月・12 月ニインターネットで集めた「低炭素カーボンイーブン 50」資料も合わせて掲載。ポストコロナ　低炭素社会の構築の入口にいる今　令和の産業革命と言える大変革の時代がどんなふうに展開しいゆくのか　社会・産業変革の中で、日本の鉄鋼がどうなってゆくのかもしっかり眺めたいと。「和鉄の道・Iron Road」の大きな展開　どんなふうに「鉄」の姿が変わって現れてくるのか　興味津々でいます。
いずれも　勝手気ままな風来坊の雑記帳ですが、何かのお役に立てば‥‥

この冬　実は大量の迷惑メールに見舞われ、古いパソコンでは　対応できず、ついにパソコンもアウトとなって、新しい PC での対応に大わらわ。和鉄の道掲載記事の新しい収蔵庫として　infokkkna2.com サーバーを立ちあげ、データー整理収蔵を始めています。　こんなこともあって、歳初めにも関わらず、新しい掲載記事をホームページに掲載できずでした。　まだ、すっきりサーバー運用手席ておらず、新しい掲載してのサーバー運用できていませんが、お許しください。

２０２２年２月　歳初めの掲載記事を整理しつつ　　From Kobe　Mutsu Nakanishi